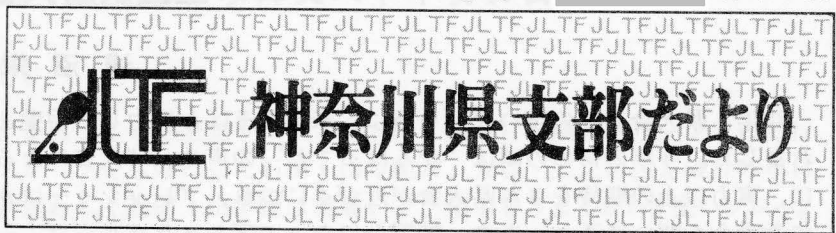


第15号



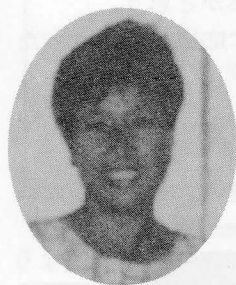
第7回 朝日レディーステニス全国決勝大会終る

11月6日、全国決勝大会は47都道府県の代表が集まり、小雨の為、高輪スポーツクラブ室内コートで始まりました。今年もVめざし監督、選手一同臨み、石川、岐阜に勝ちましたが、準々決勝でプレッシャーのない静岡に1-2で破れ涙をのみました。1ヶ月の間朝日レディースに総てを賭け、緊張した生活、本当に御苦労さまでした。

県協会、各クラブの方々、OGの皆様、応援して下さいました方々誠にありがとうございました。

監督の任を終えて

白砂京子



県予選の最終日、浅沼・沼山組、内田・湯山組、二宮・鷺見組の代表3ペアが決定した。本当に嬉しそうだった。この3ペアに全国大会でも笑顔が見られるよう頑張らせた、その思いで監督を引受けた。

練習会の為、足柄ローンへ出向いた時、足をひきずる内田さんの姿に、多少の不安はあったが出場辞退にまでなるとは思ってもいなかった。10月20日正式に稲生・馬場組の出場が決った。

練習会は、栗野、岡、宮城さんをはじめ朝日レディースOGの方々の厳しい中にも暖かいご指導、又本大会は、雨の中応援にかけつけて下さった大勢の方々本当にありがとうございました。

神奈川初のベスト4落ち、と云う新聞見出しになるような結果でしたが、選手は8ゲーム制という厳しい条件下、よく頑張ってくれたと思います。3年後には再出発のチャンスがあります。その時には今回にも増しての声援をお願いいたします。

朝日レディース神奈川県大会を顧みて

日本女子テニス連盟 神奈川県支部 副支部長 大場 初子



第7回朝日レディース県大会は、9月4日より平塚、相模原、横浜地区の三会場に分かれ予選が、9月17日より本選が川崎等々カコートで行われました。出場組数 500組の為、運営面で頭を悩ます事が多く、今年度より2つの方式を試みました。

その1つはソロ・チェア・アンパイアの採用です。敗者が審判台に乗る敗者審判で基本的にはセルフジャッジですが選手は審判が見てくれるという安心感からか、毎年いくつか起こるトラブルもほとんどありませんでした。

その2は試合の進行をコート割り表に掲示し、選手はそれを見て自分のコートを知り、進行状況を把握して行動するので、試合進行はスムーズに行われ、良かったです。しかしこの方法を取った場合試合規定により、前の試合終了後、15分以内に、試合コートに入らなければなりません。この為、1組のデフォルトを出してしまい残念でした。

この方法は、世界各国で行われており、今後日本でも取り入れられると思いますので、選手の皆様はミスカウントをとらないよう慣れていただきたいと思います。

第7回朝日レディーステニス全国決勝大会に出場して

浅沼栄子・沼山美樹子

昨年、県大会4位の苦い思いを胸に、来年こそはと努力した甲斐あって、待望の神奈川代表になりました。今年の初めの頃は“がんばってね”の声や、“代表になるのよ”と、私達の不安をよそに、実力以上の期待をされ県大会が近づくとつれ、プレッシャーはかかるばかりでした。そんな中で激励会を開いて下さったり、練習台になって下さったグループ。一つの目的を果たすのに多くの方達の協力があって、今回の名誉を得られた様な気がします。

すばらしいテニス仲間感謝の気持ちでいっぱいです。全国大会は不本意な成績で終わりましたが来年こそは又、強豪神奈川と言われるよう、頑張っていたきたいと思います。

雨の中、夜遅くまで応援して下さいました皆様、ほんとうにありがとうございました。

鷺見美恵子・二宮節子

テニスは私にとって人生の良きパートナーである。コートに一步入れば雑念を忘れ、白球を追う一球に一喜一憂している人間の心が純粋に浮き彫りにされるところがなんともたまらない魅力である。そんなテニスに対する熱い気持ちで朝日レディースの代表に選ばれてから1ヶ月間、諸先生および監督、OGの皆様練習台になっていただき、日没迄白球と格闘し、人事を尽くして天命を待つ心境で全国大会に臨んだが、残念ながらベスト8で終わってしまった。

今にして思えば全国大会ではチームの一員としての自覚が欠けていたのではないかと反省させられる。たとえ負け試合であっても最後まで粘って闘志を僚友に伝えられなかったかと思う。

もしまた機会があればこの経験を踏み台にして挑戦していこうと思う。最後に応援して下さいました皆様！ありがとうございました。

稲生光恵・馬場早苗

監督、チームメイト、練習会に参加して下さいました役員の方々、先輩達との出逢い。そして個人戦では味わった事のない程のみじめな気持ちでいた時にやさしかった友達、家族、これだけでもなんと素晴らしい経験を私達は持てた事でしょうか。

負けたくやしさを次のステップに、楽しく厳しく、ずっとテニスを続けていきたいと思っています。神奈川代表の三組を色々な面で支えて下さった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。どうもありがとうございました。

第7回 朝日レディーステニス全国決勝大会
（主催）日本テニス協会・朝日新聞社（協賛）朝日女子体育振興会
開催日時：11月9日-11日
会場：アリンクス大塚山テニスコート



写真左より
二馬 稲白
宮場 生砂
節 早光
子 苗監
苗 恵督

沼山 浅
美樹 沼
子 栄
子 子

アクシデント 肉ばなれの為出場辞退

内田まり

私は、子供がまだ3才でしたので、今年もこの大会に出場の予定は全くなかったのですが、小田原市での良きライバルでもあり、ダブルスのペアとしては最適の湯山さんが声をかけて下さったので、初めて出てみようという気になりました。本選に入ってから試合中、実に良く話し合い作戦を練り、又自分の気がつかない点を相手に指摘してもらおうという理想的なやり方で勝ち抜いていきました。私は本選終了までほとんど疲れを感じなかったのでその後の選手同志の練習以外にも黙々とボールを追いつづけていたところ、肉ばなれという最悪の事態を招いてしまい周囲の人々に大変迷惑をかけてしまいました。(ベストコンディションに持っていける様、皆様も気をつけて下さい。)

第18回 県支部ダブルス トーナメント

石田・山本組二連勝果たす

決勝、3位決定戦を残したまま延びていた上記トーナメントは8月3日相模原グリーンTCで行われました。1stセット、タイブレークをものにした石田・山本組が、大谷・二之宮組を破り昨年に続き優勝しました。決勝戦にふさわしく石田・山本組は落着いて、相手をうまくかわす堅いプレー。大谷・二之宮はパンチ力を効かし奮闘する、それぞれ持ち味を生かした見ごたえのある試合でした。

優勝 石田・山本 (鎌倉宮カントリー) 準優勝 大谷・二之宮 (相模原グリーン)
 第3位 足立・両角 (個人・柿の木台) 第4位 飯沼・坪井 (日経・高麗山)

D.60 県支部 ^{オク7回}ブロック別シングル トーナメント

ブロック別	月/日	場 所	参加人員	結 果
A	10/2 10/4	相模原市横山公園 テニスコート	78	優勝 田中あけみ (スポーツ109) 準優勝 山下 博子 (相模原グリーン) 第3位 松岡かよ子 (Y. S. C) ク 高杉 絹子 (亀の甲山)
B	9/30 10/3	本郷台テニスクラブ	130	優勝 石渡 三恵 (イシコ昭和) 準優勝 河村 峰代 (横浜グリーン) 第3位 菊地 節子 (湘南ハイランド) ク 平田 叔子 (横浜グリーン)
C	10/16 10/18	平塚市営桃浜コート 高麗山テニスクラブ 藤沢大平台テニスクラブ	134	優勝 片野三恵子 (個人) 準優勝 金子 具代 (大磯ローン) 第3位 上田 育子 (湘南ローン) ク 瀬岡かゆき (足柄ローン)

第 3 回 武 石 杯

と き 10月28・29・31日

と ころ 鎌倉ローンテニス倶楽部

50 ~ 54 才	55 才 以上
優勝 飯沼・岡田 (サントリー・鎌倉宮カントリー)	優勝 大塚・星 (鎌倉宮カントリー)
準優勝 五十嵐・小野(湘南ローン)	準優勝 白石・川手 (柿の木台・辻堂ローン)
第3位 出光・三好 (湘南インドアー・アミー)	第3位 渡会・武本 (高麗山)
第3位 清水・西本 (鎌倉宮カントリー・個人)	第3位 武石・間宮 (鎌倉ローン・湘南ローン)

第18回 県支部 シングルス トーナメント

(すごい! 飯尾さん4度目の女王に)

一般にB級シングルスと云われているこのトーナメントの出場資格は、ブロック別 シングルス (C級シングルス) トーナメントに於ける昨年迄の優勝者、準優勝者及び今年ベスト4に入った人そして過去に全日本選手権、全日本学生選手権、関東選手権、関東学生選手権等に出場経験のある者となっています。従って大変レベルの高いトーナメントです。本年は17人の選手によって競われました。お天気は良かったのですが2日目は強風と、砂じんに見舞われ、そんな中で飯尾さんは風をものともせず4個目の優勝カップを手に入れました。3位決定戦は非常に緊迫した試合となり、7-5、7-5で湯山さんに決まりました。

と き 11月11・12日 と ころ 藤沢太平台テニスクラブ
 優 勝 飯尾 尚子 (湘南グリーンテニスクラブ)
 準優勝 関場 和子 (上郷グリーンヒルテニスクラブ)
 第3位 湯山 和江 (足柄ローンテニスクラブ)
 第4位 金子 具代 (大磯ローンテニスクラブ)

紀文レディースカップ'85 報知ダブルステニストーナメント

7月大会 (7/16・17) 相模原グリーン	11月大会 (11/19・20) (スポーツマンクラブ)
優勝 大谷・小橋 (相模原グリーン・千代田)	優勝 小川・加藤 (Y. S. C. フリー)
準優勝 二之宮・滝本 (相模原グリーン)	準優勝 湯山・関場 (足柄ローン・上郷グリーンヒル)
第3位 米沢・田淵 (桜町・タチバナ)	第3位 村野・小林 (宮崎台)
〃 森尾・葉山 (上郷グリーンヒル)	〃 鈴木・小林 (鎌倉宮カントリー)
第5位 早坂・刈屋 (相模原)	第5位 西牧・米山 (サンブリッジ)
〃 田中・福武 (スポーツ109・青葉台)	〃 東樹・長谷川 (上郷グリーンヒル)
〃 鈴木・小林 (鎌倉宮カントリー)	〃 西尾・植田 (日経)
〃 姫野・若島 (相模原ガーデン・読売ガーデン)	〃 登山・山田 (横浜グリーン・本郷台)

今回は61年1月22・23日、湘南スポーツセンターで行われます。決勝大会は61年4月15～17日、読売テニスガーデンの予定です。お問い合わせは読売新聞社事業部 () 中島・吉原氏迄

失格になります！……トーナメント諸規則を守りましょう…

日本女子テニス連盟神奈川県支部 支部長 伊波 昭子

この度、県協会よりテニスルールブックハンド85年版のP86、トーナメント諸規則15(d)項を完全実施する旨の通達がありました。この項は、トーナメントのダブルエントリーを禁止する規則です。即ち関係するトーナメントの委員会の同意なしに同一期間内に行われる2つ以上のトーナメント、(コンソレーション・予備日を含む)に参加し、又は申し込んではならないと定めてあります。これに違反した場合は失格となったり、次年度の当該大会への参加資格を失う場合もあります。会員の皆様には、各大会の要項をよく読み、慎重に参加申し込みをされるよう御注意下さい。次に最近各大会でDEFが多くなっております。これについては、同諸規則15(e)に病氣・家族の不幸・その他正当な理由なしにDEFしてはならない旨規定され、また、やむを得ない場合は、レフリーに届け出る事を義務付けられております。

これらの2つの事は規則のある、なしにかかわらず、参加選手の倫理の問題であり、当然守られなければならない性質のものと思えます。是非、今後違反のないよう御注意下さい。

こんなお手伝いをしました

第2回車椅子テニス大会が、神奈川県県央地区体育センターを中心に三会場で、9月7・8日に行われました。今回は1都1府9県から88名の選手が集まり、車椅子をあざやかに操りながらの熱戦が展開されました。参加資格は身体障害者手帳を有し、車椅子を使用して競技を行う人。外国籍の人は同手帳の有無は不問。通常車椅子を使用しない障害者も競技に車椅子を使用する事で参加可能とありました。選手の中には障害者になって初めてラケットを持った人もおりましたが、ゲームをする人・応援にまわる人・それは夫婦・兄妹・親子・友人といろいろなつながりの人達でした。

その中で地元テニス協会の方々、大学生、高校生、中学生、そして十数名の厚木地区女子連会員が、運営進行、ジャッジ、ボール拾いの手伝いをしました。本大会の企画者や選手は私達テニスをする者と2人・3人・4人組といろいろな形で試合をしてみたいそうです。機会があったら行いたいと思いました。

高橋 記

その他、ジャルカップ、パンパシフィックオープン、ジャパンオープン、全日本ジュニアの各トーナメントの審判も手伝いました。

訃報

日本テニス協会専務理事であった藤倉五郎氏は去る11月16日午前0時30分、肺炎の為66才で永眠されました。慎んで御冥福をお祈り申し上げます。慶大出身で元テニ杯選手、昭和21年全日本選手権単複を制しその後22年、26年の複も優勝。小柄で堅実なプレーをされました。喜代夫人は日本女子テニス連盟副理事長をされています。

☆沢山の行事を消化し本年も終ろうとしています。来年も何か1つ目標を持ち成就できますよう御精進なさいますように。